

鉄砲洲神社 論語素読 解説

(平成 23 年 5 月 6 日)

述而第七

26 子 釣 すれども網せず。弋すれども宿を射ず。

孔子は釣りをするけれども、根こそぎ網を使って捕ることはしない。飛んでいる鳥やとまっている鳥を狙って弓を使うけれども、寝ている鳥を射たりはしない。

孔子は魚や鳥を捕る暗黙のルールを守って、根こそぎ捕ることはしない。人格が自然と顕われるのだと思います。

今日たまたまテレビで、小沢さんが釣りをして捕った魚をすぐさま捌いて食べているのを見ました。放射能の影響はないぞというパフォーマンスでしょうが、こういう釣りもあるのかと思いました。

27 子曰く、蓋し知らずして之を作す者有らん。我は是れ無きなり。多く聞きて其の善き者を択びて之に従い、多く見て之を識す。知るの次なり。

ものを知らないまま、ことを為す者がいる。私はこういうことはしない。どうということでも専門家の意見を聞いて、その中で良いと思う話を選んでそれに従う。見聞を広くして記録もきちんとしていく。こういうことは上智（生まれながらに知る者）の次になる学知である。

これは平常時には非常に良い言葉だと思いますが、今の日本のような非常事態の時に「多く聞きて其の善き者を択びて之に従い・・・」とやっていたのでは間に合いません。

今朝の新聞に、枝野官房長が震災対応のための色々な組織が乱立して指示命令系統が不統一であると指摘をされるので、三つの対策本部とそれぞれの下部組織に整理すると発表したとありました。災害対策本部と原発に関する対策本部と復興に関する対策本部だそうですが、今頃やるのは遅いなと思いました。

先週私は 1 週間かけて被災地を回って来ました。つくづく感じたのは、やはりしかるべき人物がトップにいる市役所や町役場と、人物がトップにいない役所では、まるっきり対応が違うということです。しかるべき判断をし命令できるトップがいる役場だと思えると

ころは、部署ごとに分かれててきぱきと機能的に動いていました。反対に何をしてもいいか分からずに右往左往している役場もけっこうありました。

以前、私の知り合いの社長が厚労省からの要請でマスクを準備したけれども、その後の指示がなくて届けられないという話を致しました。国がだめならということで、その方は岩手県に連絡をしたところ、是非送って欲しいということで詳しい連絡を待ったけれども、これまた埒があかなかったそうです。岩手県は小沢さんの地元なので、官邸にお伺いを立てると、足の引っ張りあいでは話が進まないようです。結局、国も県もだめなので、原発事故で困っている市（相馬市と双葉町）へ直接電話をかけて、自らマスクと防護服を届けたそうです。他に甘いものが欲しいということで、デパートで買い集めて一緒に持っていったそうです。

原発に近い双葉町に行って感じたことは、人がなくてゴーストタウンのようだったそうです。今現在、原発の問題が進行中なので、復興作業をしていいのか、何をどうしてよいか分からない状態なので、役場の中に大勢の人がいても、黙ってうつむいてじっとしているだけで何もしていないのだそうです。「マスクと防護服をお持ちしました」と声をかけても、気の抜けた返事で恐ろしくなったそうです。人間は先が見えないと、これほどまでに打ちのめされるのかと思うような異様な雰囲気だったそうです。その方は計画的避難が出た日の昼間に入ったのですが、夜には封鎖になって、今は立ち入り禁止ですから、完全にゴーストタウンになっていますね。

目的を持たない組織、現在被害が進行中の組織は、これほどまでに酷いものになるのかという話を聞いてぞっとしました。私は福島県には行きませんが、私が回った被災地は、活気がある所とない所とありましたけれども、ゴーストタウンになっているところはありませんでした。ただ感じたことは、もの凄い瓦礫の山になっている状況を眼にして、写真を撮ろうと思いましたがシャッターが切れませんでした。こんな体験は初めてでした。カメラを構えても、目の前の瓦礫の中に何人・何十人の死体があるのかと思うと、シャッターが押せないのです。自衛隊の人が一所懸命、手作業で瓦礫を片づけていました。遺体を捜しているのでしょう。大変な作業だと思いました。とにかく尋常な世界ではありません。瓦礫の山の中を、自衛隊が道を作ってくれたから車が通れるのであって、自衛隊が動かなかつたら、今頃はとんでもないことになっているだろうとつくづく感じました。

そこで「蓋し知らずして之を作す者有らん」・・・物事を知らないでことを為す者ありという部分で、菅さんそのものではないかという気が致します。

「多く聞きて其の善き者を択びて之に従い、多く見て之を識す」という部分は、何ごとも

起きていない平穩無事な状態の時には役に立つ科白だけれども、非常事態の時にはトップが独断専行で次から次に決定して指示をしていかないと、物事が停滞してどうにもなりません。肚をくくって何かをすることが必要です。池田隼人首相が所得倍増計画を打ち出した時に、周りからは非難轟々だったわけですが、池田首相は「私は内閣総理大臣も政治家も辞める覚悟の元で実行しようとしているのだから、是非協力を戴きたい」と訴え、政治家としての首も投げ出したわけです。そう考えると、やはり今の内閣総理大臣は代わってもらわなければならないと思います。

28 ごきょう 互郷 とも 与に い 言 がた い難し。 どうじ 童子 まみ 見 もんじん 見 まど ゆ。 し 門人 し 惑 し う。 こ 子曰 く く、 その 其の すす 進む ゆる を ゆる 与 す すなり。 その 其の しりぞ 退 ゆる く ゆる を ただ 与 なん さ はなは ざる ひと なり。 ひと 唯 おのれ 何 いさぎよ ぞ もつ 甚 すす だ そ だし いさぎよ き。 ゆる 人 そ 己 おう を ほ 潔 ほ く ほ して ほ 以 ほ て ほ 進 ほ ま ほ ば、 ほ 其 ほ の ほ 潔 ほ き ほ を ほ 与 ほ す ほ な ほ り。 ほ 其 ほ の ほ 往 ほ を ほ 保 ほ せ ほ ざ ほ る ほ な ほ りと。

風紀・風俗の悪い土地柄の村から少年がやって来たので、孔子が教える。門人たちは、そんな風紀の悪い所から来た者に、ものを教えるなどとんでもないと戸惑った。

孔子が言うには、「学びたいと決意をして私の元に来たのであれば、快く教える。ただ、その人が退いた後で、悪いことをする場合は許さない。人が自分の心をまっさらにして学びたいと思って来るのであれば、その潔い心根を愛でていくらでも教えよう。過去のことを咎めて拒絶したりはしない。」と言いました。

習いに来た人間に甚だしく厳しいことを言うのはよくないと門人を戒めています。

今風に言えば、教わりたいと言ってきたら教えるのが妥当であろうし、その人が去っていったら、その後まで自分は保証しないということでしょう。